

令和 3 年 7 月 19 日
令和 5 年 3 月 22 日改訂
令和 5 年 7 月 24 日改訂
令和 8 年 5 月 19 日改訂
気 象 庁 情 報 基 盤 部

配信資料に関する仕様 No. 30401

～波浪数値予報モデル GPV～

1. 概要

気象庁では、船舶の航行や海上作業の安全に係る情報の充実に係る目的として、全球波浪数値予報モデル及び沿岸波浪数値予報モデルによって計算した有義波高等の GPV を提供しています。全球波浪数値予報モデル GPV は極域を除く地球全体を対象とした比較的粗い解像度のものであり、沿岸波浪数値予報モデル GPV は日本周辺を対象としたより高解像度のものです。

2. 全球波浪数値予報モデル GPV について

(1) 概要

- ①初期値 : 00, 06, 12, 18UTC (1 日 4 回)
- ②予報時間 : 48 時間予報 (00, 06, 12, 18UTC)、3 時間間隔
54-132 時間予報 (00, 06, 12, 18UTC)、6 時間間隔
138-264 時間予報 (00, 12UTC)、6 時間間隔
- ③格子系 : 等緯度経度
- ④格子間隔 : 0.25 度×0.25 度 (格子数 1440×599)
- ⑤領域 : (74.75N, 0E)北西端から 180 度を経て(74.75S, 0.25W)を南東端とする領域
- ⑥データ量 : 約 117MB/回×4 回+約 83MB/回×2 回=約 634MB/日
(データサイズは欠損値の多寡により変動します。欠損値については本項 (4) を参照ください。)
- ⑦フォーマット : GRIB2

(2) 要素

波高 (m)、ピーク周期 (秒)、平均波向 (度)、平均ゼロアップクロス周期 (秒)

(3) ファイル名・データフォーマット

ファイル名については別紙 1 を、データフォーマットに関しては別紙 2 を参照願います。

(4) 欠損値について

全球波浪数値予報モデル GPV では、モデルにおいて陸又は海水と定義された格子点では、データを持ちません。このため、これらの格子の波高・周期・波向を欠損値として扱います。

3. 沿岸波浪数値予報モデル GPV について

(1) 概要

- ①初期値 : 00, 06, 12, 18UTC (1 日 4 回)
- ②予報時間 : 72 時間予報 (00, 06, 12, 18UTC)、3 時間間隔
- ③格子系 : 等緯度経度
- ④格子間隔 : 0.05 度×0.05 度 (格子数 601×601)
- ⑤領域 : (50N, 120E)北西端、(20N, 150E)を南東端とする領域
- ⑥データ量 : 約 82MB/回×4 回=約 328MB/日
- ⑦フォーマット : GRIB2

(2) 要素

波高 (m)、ピーク周期 (秒)、平均波向 (度)、平均ゼロアップクロス周期 (秒)、海上風東西成分 (m/s)、海上風南北成分 (m/s)

(3) 沿岸波浪数値予報モデル GPV の配信要素に含まれる海上風について

沿岸波浪数値予報モデル GPV の配信要素に含まれている海上風は、沿岸波浪数値予報モデルに外力として与えた風です。波浪数値予報モデルの外力は全球数値予報モデル (GSM) を利用していますが、台風周辺海域では台風予報 (進路および強度) に基づくモデル的な海上風分布を与えています。そのため、沿岸波浪数値予報モデル GPV に含まれている海上風は GSM から出力される海上風とは異なる場合がありますので、データの利用にあたってはご留意願います。

(4) ファイル名・データフォーマット

ファイル名については別紙 1 を、データフォーマットに関しては別紙 3 を参照願います。

4. 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行いません。あらかじめご承知おきください。

【改訂履歴】

○令和 5 年 3 月 22 日

「配信資料に関する技術情報 第 600 号～全球波浪モデルの高解像度化と延長予報の頻度増強について～」のとおり改訂

○令和 5 年 7 月 2 4 日

「1. 概要」を改訂（令和 5 年 7 月 24 日付配信資料に関するお知らせ～配信資料に関する技術情報第 600 号の訂正について～関連）

○令和 8 年 5 月 1 9 日

「配信資料に関する技術情報 第 660 号～全球・沿岸波浪モデル及び波浪アンサンブル予報システム関連 GPV の要素追加・要素名変更・時間間隔変更について～」のとおり改訂

全球波浪数値予報モデルGPV

ファイル名	サイズ	内 容		初期値
Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_GWM_GPV_Rgl_Gll0p25deg_Pcws_FD0000-0512_grib2.bin	約117MB	波高、ピーク周期、平均波向、平均ゼロアップクロス周期(4要素)	0-132時間予報 (0-48時間予報は3時間 間隔、54-132時間予報 は6時間間隔)	00,06,12,18 UTC
Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_GWM_GPV_Rgl_Gll0p25deg_Pcws_FD0518-1100_grib2.bin	約83MB		138-264時間予報 (6時間間隔)	00,12UTC

沿岸波浪数値予報モデルGPV

ファイル名	サイズ	内 容		初期値
Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_CWM_GPV_Rjp_Gll0p05deg_Pcws_FD0000-0300_grib2.bin	約82MB	波高、ピーク周期、平均波向、平均ゼロアップクロス周期、海上風(東西、南北)(6要素)	0-72時間予報 (3時間間隔)	00,06,12,18 UTC

※ ZとCの間のアンダースコアは2個、その他のアンダースコアは1個。
 yyyyMMddhhmmssには初期時刻が入る:年月日時分秒、協定世界時(UTC)。

GRIB2通報式による
全球波浪数値予報モデルGPV
データフォーマット

令和7年10月

気象庁情報基盤部

1. データについて

- ・フォーマットは、国際気象通報式FM92GRIB 二進形式格子点資料気象通報式(第2版)(以下、「GRIB2」という)に則っている。
- ・ 全球波浪数値予報モデルGPVは海洋プロダクトである。
- ・ 要素が現れる順序は不定である。
- ・ GRIB2中の作成ステータスを利用して試験を行う場合があるので、必ず作成ステータス(第1節第20オクテット)を参照すること。

以下は、GRIB2 に共通である。

- ・ 各フォーマット中のバイナリデータは、ビッグエンディアンである。
- ・ 負の値は最上位ビットを1にすることにより示す(2の補数表現ではない)
- ・ 単純圧縮において元のデータ Y は、次の式で復元できる。

$$Y = (R + X \times 2^E) \div 10^D$$

E=二進尺度因子

D=十進尺度因子

R=参照値

X=圧縮された値

データの格子情報

	全球波浪モデル
領域(南北)	北緯74.75度－南緯74.75度
〃(東西)	東経0度－西経0.25度 (東経359.75度)
格子間隔	0.25度
格子数	1440x599

2. 全球波浪数値予報モデルGPVに用いるGRIB2のフォーマットおよびテンプレートの詳細

節番号	節の名称・ 該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考
第0節	指示節	1~4	GRIB		"GRIB"	国際アルファベットNo.5(CCITT IA5)
		5~6	保留		missing	
		7	資料分野	符号表0. 0	10	
		8	GRIB版番号		2	
		9~16	GRIB報全体の長さ		*****	
第1節	識別節	1~4	節の長さ		21	
		5	節番号		1	
		6~7	作成中枢の識別	共通符号表C-1	34	
		8~9	作成副中枢		0	
		10	GRIBマスター表バージョン番号	符号表1. 0	2	
		11	GRIB地域表バージョン番号	符号表1. 1	1	
		12	参照時刻の意味	符号表1. 2	1	
		13~14	資料の参照時刻(年)		*****	
		15	資料の参照時刻(月)		*****	
		16	資料の参照時刻(日)		*****	
		17	資料の参照時刻(時)		*****	
		18	資料の参照時刻(分)		*****	
		19	資料の参照時刻(秒)		*****	
		20	作成ステータス	符号表1. 3	0	
		21	資料の種類	符号表1. 4	1	
						0=現業プロダクト、1=現業的試験プロダクト 予報プロダクト
第2節	地域使用節	不使用			省略	
第3節	格子系定義節	1~4	節の長さ		72	
		5	節番号		3	
		6	格子系定義の出典	符号表3. 0	0	
		7~10	資料点数		862560	
		11	格子点数を定義するリストのオクテット数		0	
		12	格子点数を定義するリストの説明		0	
		13~14	格子系定義テンプレート番号	符号表3. 1	0	
		15	地球の形状	符号表3. 2	6	
		16	地球球体の半径の尺度因子		missing	
		17~20	地球球体の尺度付き半径		missing	
		21	地球回転楕円体の長軸の尺度因子		missing	
		22~25	地球回転楕円体の長軸の尺度付きの長さ		missing	
		26	地球回転楕円体の短軸の尺度因子		missing	
		27~30	地球回転楕円体の短軸の尺度付きの長さ		missing	
		31~34	緯線に沿った格子点数		1440	
		35~38	経線に沿った格子点数		599	
		39~42	原作成領域の基本角		0	
		43~46	端点の経度及び緯度並びに方向増分の定義に使われる基本角の細分		missing	
		47~50	最初の格子点の緯度	10**-6度単位	74750000	
		51~54	最初の格子点の経度	10**-6度単位	0	
		55	分解能及び成分フラグ	フラグ表3. 3	48	
		56~59	最後の格子点の緯度	10**-6度単位	-74750000	
		60~63	最後の格子点の経度	10**-6度単位	359750000	
		64~67	方向の増分	10**-6度単位	250000	
		68~71	方向の増分	10**-6度単位	250000	
		72	走査モード	フラグ表3. 4	0	
		1~4	節の長さ		34	
		5	節番号		4	
		6~7	テンプレート直後の座標値の数		0	
		8~9	プロダクト定義テンプレート番号	符号表4. 0	0	
		10	パラメータカテゴリー	符号表4. 1	※1	
		11	パラメータ番号	符号表4. 2	※1	
		12	作成処理の種類	符号表4. 3	*****	
		13	背景作成処理識別符	JMA定義	220	
		14	解析又は予報の作成処理識別符		missing	
		15~16	観測資料の参照時刻からの締切時間(時)		2	
		17	観測資料の参照時刻からの締切時間(分)		30	
		18	期間の単位の指示符	符号表4. 4	1	
		19~22	予報時間		*****	
		23	第一固定面の種類	符号表4. 5	1	
		24	第一固定面の尺度因子		missing	
		25~28	第一固定面の尺度付きの値		missing	
		29	第二固定面の種類	符号表4. 5	missing	
		30	第二固定面の尺度因子		missing	
		31~34	第二固定面の尺度付きの値		missing	
第4節	プロダクト定義節	1~4	節の長さ		21	
		5	節番号		5	
		6~9	全資料点の数		*****	
		10~11	資料表現テンプレート番号	符号表5. 0	0	
		12~15	参照値(R) (IEEE 32ビット浮動小数点)		Rは可変	
		16~17	二進尺度因子(E)		Eは可変	
		18~19	十進尺度因子(D)		Dは可変	
		20	単純圧縮による各圧縮値のビット数		12	
		21	原資料場の値の種類	符号表5. 1	0	
						浮動小数点
第5節	資料表現節	1~4	節の長さ		21	
		5	節番号		5	
		6~9	全資料点の数		*****	
第6節	ビットマップ節	10~11	資料表現テンプレート番号	符号表5. 0	0	格子点資料—単純圧縮 Rは可変 Eは可変 Dは可変
		12~15	参照値(R) (IEEE 32ビット浮動小数点)		Rは可変	
		16~17	二進尺度因子(E)		Eは可変	
		18~19	十進尺度因子(D)		Dは可変	
		20	単純圧縮による各圧縮値のビット数		12	
		21	原資料場の値の種類	符号表5. 1	0	
						浮動小数点
第7節	資料節	1~4	節の長さ		*****	
		5	節番号		7	
		6~nn	単純圧縮オクテット列		X~	
第8節	終端節	1~4	7777		"7777"	国際アルファベットNo.5(CCITT IA5)

(注) 値が「missing」の場合、そのデータは全ビット1の値、英数字の変数名や「*****」は可変を示す。

※1 要素の表現（第4節 10～11オクテットについて）

	10オクテット パラメータカテゴリ (符号表4. 1)	11オクテット パラメータ番号 (符号表4. 2)
波高	0 (波浪)	3 (風浪及びうねりの合成有義波高 (m))
平均波向	〃	14 (風浪及びうねりの合成波の来る方向 (度))
平均ゼロアップ クロス周期	〃	28 (平均ゼロアップクロス周期 (s))
ピーク周期	〃	34 (ピーク周期 (s))

※2 第6節は、当該GRIB報での各格子点における値の有無を指示します。

第6オクテット ビットマップ指示符 (符号表6. 0)	第7オクテット～ の有無
0	有
254	無

ビットマップ指示符が0の場合・・・

第7オクテット以降に記述されたビットマップが適用されます。

ビットマップ指示符が254の場合・・・

直前に報じられたGRIB報に記述されたビットマップが適用されます。

GRIB2通報式による
沿岸波浪数値予報モデルGPV
データフォーマット

令和7年10月

気象庁情報基盤部

1. データについて

- ・ フォーマットは、国際気象通報式FM92GRIB 二進形式格子点資料気象通報式(第2版)(以下、「GRIB2」という)に則っている。
- ・ 沿岸波浪数値予報モデルGPVは海洋プロダクトと気象プロダクトから成る。
- ・ 沿岸波浪数値予報モデルGPVは、海洋プロダクトの第0節から第8節と、気象プロダクトの第0節から第8節を単純に連結したファイルである。
- ・ 要素が現れる順序は不定である。
- ・ GRIB2中の作成ステータスを利用して試験を行う場合があるので、必ず作成ステータス(第1節第20オクテット)を参照すること。

以下は、GRIB2 に共通である。

- ・ 各フォーマット中のバイナリデータは、ビッグエンディアンである。
- ・ 負の値は最上位ビットを1にすることにより示す(2の補数表現ではない)
- ・ 単純圧縮において元のデータ Y は、次の式で復元できる。

$$Y = (R + X \times 2^E) \div 10^D$$

E = 二進尺度因子

D = 十進尺度因子

R = 参照値

X = 圧縮された値

データの格子情報

	沿岸波浪モデル
領域(南北)	北緯20度－50度
//(東西)	東経120度－150度
格子間隔	0.05度
格子数	601x 601

2. 沿岸波浪数値予報モデルGPVに用いるGRIB2のフォーマットおよびテンプレートの詳細

資料分野毎に、第0節～第8節を繰り返す

要素毎に、第4節～第7節を繰り返す

節番号	節の名称・ 該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考		
第0節	指示節	1～4	GRIB		"GRIB"	国際アルファベットNo.5(CGITT IA5)		
		5～6	保留		missing			
		7	資料分野	符号表O. 0	*****	0=気象分野、10=海洋分野		
		8	GRIB版番号		2			
		9～16	GRIB報全体の長さ		*****			
第1節	識別節	1～4	節の長さ		21			
		5	節番号		1			
		6～7	作成中枢の識別	共通符号表C-1	34	東京		
		8～9	作成副中枢		0			
		10	GRIBマスター表バージョン番号	符号表1. 0	2	現行運用バージョン番号		
		11	GRIB地域表バージョン番号	符号表1. 1	1	地域表バージョン1		
		12	参照時刻の意味	符号表1. 2	1	予報の開始時刻		
		13～14	資料の参照時刻(年)		*****			
		15	資料の参照時刻(月)		*****			
		16	資料の参照時刻(日)		*****			
		17	資料の参照時刻(時)		*****			
		18	資料の参照時刻(分)		*****			
		19	資料の参照時刻(秒)		*****			
		20	作成ステータス	符号表1. 3	0	0=現業プロダクト、1=現業的試験プロダクト		
		21	資料の種類	符号表1. 4	1	予報プロダクト		
		第2節	地域使用節	不使用				省略
		第3節	格子系定義節	1～4	節の長さ		72	
5	節番号				3			
6	格子系定義の出典			符号表3. 0	0	符号表3. 1参照		
7～10	資料点数				361201	601x601		
11	格子点数を定義するリストのオクテット数				0			
12	格子点数を定義するリストの説明				0			
13～14	格子系定義テンプレート番号			符号表3. 1	0	緯度・経度格子		
↓	地球の形状			符号表3. 2	6	半径6,371.229kmの球体と仮定した地球		
↓	地球球体の半径の尺度因子				missing			
↓	地球球体の尺度付き半径				missing			
↓	地球回転楕円体の長軸の尺度因子				missing			
↓	地球回転楕円体の短軸の尺度因子				missing			
↓	地球回転楕円体の短軸の尺度付きの長さ				missing			
↓	経線に沿った格子点数				601			
↓	経線に沿った格子点密度				601			
↓	原作成領域の基本角				0			
↓	端点の経度及び緯度並びに方向増分の定義に使われる基本角の細分				missing			
↓	最初の格子点の緯度			10**-6度単位	50000000	北緯50度		
↓	最初の格子点の経度			10**-6度単位	120000000	東経120度		
↓	分解能及び成分フラグ			フラグ表3. 3	48			
↓	最後の格子点の緯度			10**-6度単位	20000000	北緯20度		
↓	最後の格子点の経度			10**-6度単位	150000000	東経150度		
↓	方向の増分			10**-6度単位	50000	0.05度		
↓	方向の増分			10**-6度単位	50000	0.05度		
↓	ここまでテンプレート3.0				72			
第4節	プロダクト定義節			↓	走査モード	フラグ表3. 4	0	
				1～4	節の長さ		34	
				5	節番号		4	
				6～7	テンプレート直後の座標値の数		0	
				8～9	プロダクト定義テンプレート番号	符号表4. 0	0	0=ある時刻の、ある水平面における予報
				↓	パラメータカテゴリー	符号表4. 1	※1	
		↓	パラメータ番号	符号表4. 2	※1			
		↓	作成処理の種類	符号表4. 3	*****	1=初期値、2=予報		
		↓	背景作成処理識別符	JMA定義	221	221=沿岸波浪モデル		
		↓	解析又は予報の作成処理識別符		missing			
		↓	観測資料の参照時刻からの締切時間(時)		2			
		↓	観測資料の参照時刻からの締切時間(分)		30			
		↓	期間の単位の指示符	符号表4. 4	1	時		
		↓	19～22	予報時間		*****		
		↓	23	第一固定面の種類	符号表4. 5	1	1=地面または水面	
		↓	24	第一固定面の尺度因子		missing		
		↓	25～28	第一固定面の尺度付きの値		missing		
↓	29	第二固定面の種類	符号表4. 5	missing				
↓	30	第二固定面の尺度因子		missing				
↓	31～34	第二固定面の尺度付きの値		missing				
第5節	資料表現節	1～4	節の長さ		21			
		5	節番号		5			
		6～9	全資料点数の数		361201	601x601		
		10～11	資料表現テンプレート番号	符号表5. 0	0	格子点資料－単純圧縮		
		↓	12～15	参照値(R) (IEEE 32ビット浮動小数点)		Rは可変		
		↓	16～17	二進尺度因子(E)		Eは可変		
		↓	18～19	十進尺度因子(D)		Dは可変		
		↓	20	単純圧縮による各圧縮値のビット数		12		
第6節	ビットマップ節	21	原資料場の値の種類	符号表5. 1	0	浮動小数点		
		1～4	節の長さ		6			
		5	節番号		6			
第7節	資料節	6	ビットマップ指示符		missing			
		1～4	節の長さ		541807			
		5	節番号		7			
第8節	終端節	6～nn	単純圧縮オクテット列		X～	単純圧縮された格子点値の列		
		1～4	7777		"7777"	国際アルファベットNo.5(CGITT IA5)		

(注) 値が「missing」の場合、そのデータは全ビット1の値、英数字の変数名や「*****」は可変を示す。

※1 要素の表現（第4節 10～11オクテットについて）

・「資料分野」(第0節 第7オクテット)が“10”(海洋分野)の場合

	10オクテット パラメータカテゴリ (符号表4. 1)	11オクテット パラメータ番号 (符号表4. 2)
波高	0 (波浪)	3 (風浪及びうねりの合成有義波高 (m))
平均波向	〃	14 (風浪及びうねりの合成波の来る方向 (度))
平均ゼロアップ クロス周期	〃	28 (平均ゼロアップクロス周期 (s))
ピーク周期	〃	34 (ピーク周期 (s))

・「資料分野」(第0節 第7オクテット)が“0”(気象分野)の場合

	10オクテット パラメータカテゴリ (符号表4. 1)	11オクテット パラメータ番号 (符号表4. 2)
風の東西成分	2 (運動量)	2 (風のu成分 (m/s))
風の南北成分	〃	3 (風のv成分 (m/s))

第7節 資料節について

本資料にて陸ないし海水で覆われた格子については、各要素に以下の値(復元後の値)を格納する。

波高	0
波向	-10
周期	0